



大五小だより

大田区立大森第五小学校 校長 中嶋 友晴

明日から夏休み！

副校長 芝崎 武士

いよいよ明日から夏休みが始まります。今年は曜日の並び関係で、いつもの年よりちょっと長い44日間のお休みです。ご家庭でも様々な計画、予定が組まれていることと思います。ぜひ、楽しんでください。

また、この夏休みの有効な使い方として、「普段は経験できないようなことに挑戦してみる」ということであろうかと思えます。じっくり、時間をかけて取り組む自由研究や作品の制作、毎日継続して取り組む運動、お家を離れた遠い場所でなくてはできない体験などに取り組んでください。そして自分にできることを増やし、自分への自信を深め、2学期を迎えられたら素晴らしいことだと思います。

さて、よく夏休みの前になると、学校の先生は上のようなことを話します。たしかに日常を離れ、長期にわたる自由な時間を活用し、非日常を味わい物事に取り組むというのは魅力的なことであり、またこどもたちの人としてのスケールを一回り大きくしてくれることだと思います。でも、「よし、じゃあやってみよう！」と躊躇なく取りかかれる人は多くはないかもしれません。一歩踏み出すことをためらわせるのは「うまくいかなかったら」「失敗したら」という不安、心配ではないでしょうか。「失敗はよくないこと」「失敗はマイナス」という思いがそこにはあるのでしょうか。

しかし考えてみますと、大人である我々が日々の生活や仕事を振り返ってみても、一回目で大成功、ということは珍しいのではないのでしょうか。こどもたちも失敗して当然、ぜひたくさん「いい失敗」をしてほしいと思います。（もちろん、取り返しのつかない失敗、というのは困りますが。）

いい失敗をして、失敗経験値を稼いだら、そのあとは「あのときああすりゃよかったな」をたくさん考えさせてあげてください。「ここまでよかったよね」と部分的な成功を認めてあげてください。もしもへこんでいたら、励ましてあげてください。考えたことや試したことを生かし、何度も取り組んでいくうちに、いつの間にかうまくいくようになっていくものです。そしてうまくいったときは、大いにほめて認めてあげてください。

「失敗は成功の元」そんな言葉が昔からあることを考えても、人が失敗を恐れるのは自然なこと、あたりまえのことのようです。ぜひ正しく恐れて、いい失敗をたくさんしてほしい、そんなふうに思っています。

お知らせ

教員の夏季休暇等取得推進日の設定について

大田区教育委員会では、働き方改革の一環として、8月7日（木）～8月21日（木）の期間、大田区内の全区立小中学校で、教員の夏季休暇等取得推進日を設定しております。この期間、教員は勤務しておりません。学校への電話連絡等は、期間外でお願いします。ご理解ご協力、よろしくお願いいたします。

8月の行事予定

日	曜	行事
7	木	教員の夏季休暇等取得推進日
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	山の日
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
29	金	登校日 登校 9:00 下校 10:15

9月の主な行事予定

日	曜	行事
1	月	始業式 登校 8:15 下校 12:15 避難訓練（集団下校）
2	火	給食（始） 夏休み作品展（始） 身体測定（1・2年・3組）
3	水	身体測定（3・4年） 伊豆高原移動教室説明会（5年）
4	木	身体測定（5・6年）
5	金	夏休み作品展（終）
12	金	クラブ（4.5.6年）
19	金	クラブ
25	木	救急救命講習（6年）
26	金	連合運動会（3組）

詳しくは9月号でお知らせします。

充実した夏休みを過ごそう

生活指導部 森口 茉奈美

新たな学年で緊張感をもって過ごしてきた1学期も終わり、こどもたちが待ちに待った夏休みが始まります。家族での旅行や友達といつもより長い遊び時間があり、今から楽しみにしている人も多いでしょう。しかし、その分生活が乱れることもあります。長期休みだからこそ普段と同じように生活することが大切です。睡眠時間や学習時間、適切な食事等、一日一日を大事に過ごしていきましょう。また、外で遊ぶことも多くなると考えられるので、危険な遊びや誘惑に乗らないようにご家庭でも、遊びのルールを確認してください。

2学期の初めには、元気なみなさんとお会いできるのを楽しみにしています。

算数指導について

算数少人数担当 藤井 愛

「先生、今日の日付と題名(単元名)をもう書いてきました。」「昨日の計算を家でもう一回解いてきました。」「自分の考えを発表したいです。」と、毎時間とても意欲的に算数の学習に取り組むこどもたち。本校の1～2年生では担任と講師による複数でクラス算数を展開。3～6年生では習熟度別の3コースに分かれて学習を進めています。(チャレンジ、しっかり、じっくりコース)どのコースも自分のペースに合わせて安心して学習に取り組むことができるよう、毎単元ごとにレディネステストを行い、本人の希望を元に、担任と算数少人数専科が連携をとりコース分けをしています。

算数は、積み重ねの教科です。分からないところをそのままにしておくと、次の学習ではもっと分からなくなってしまうことがあります。学校でもその都度、「九九をもう一度見直してみようか。」「あまりのある少数のわり算を一緒に解き直してみよう。」と声掛けをし、具体的にどこで躓いているのかを伝えるようにしています。そして補習の時間等を使い学習の定着を図るよう進めています。

また、大田区では、クロームブックを利用した算数のドリル学習にも取り組んでいます。この夏休みには大5小の新たな取り組みとして全学年に「夏休みチャレンジ!」と称した夏休みに取り組めるドリルを課題配信いたしました。ぜひご活用していただけたらと思います。

※アクセス方法: まなびポケット→ポータル(ミライシード)→ドリルパーク

→課題ドリル「夏休みチャレンジ!」(各教科ドリルの下周辺に表示されます)

(詳しいアクセス方法は、まなびポケット、全校用チャンネルの投稿をご覧ください。)

体力テスト

体力テスト担当 堀 真人

6月中にすべての種目を終えることができました。こどもたちも体力テストを楽しみにしており、去年よりも少しでもよい記録を目指し頑張る姿が見られました。どうしても、点数に一喜一憂してしまいがちですが、大切なことは自分の体力の現状を知り、今後の体力向上に生かすことです。たとえば、50m走で速く走れる人は力を瞬間的に出すことができる瞬発力があります。一方、50m走は速くなくても、20mシャトルランが得意な人は、持久力があります。

今回の結果を見て、自分の得意な種目はさらに伸ばせるように意識してみましょう。また、苦手とする種目は、「伸びしろがある」とも言えます。普段の運動の中で、少し意識してみると自分の身体の特性をより知ることができると思います。

教室だより **4年生**

社会科見学

砂川 勇太 上條 幸子

7月10日に、4年生は社会科見学に行きました。見学場所は、中央防波堤埋立処分場と多摩川清掃工場の2か所です。中央防波堤埋立処分場では、焼却残灰などの埋め立ての様子を見たり、ごみの中間処理施設を見学したりすることができました。多摩川清掃工場では、集積所から運ばれてきた燃えるごみが「ごみバンカ」に集められる様子や、巨大な「ごみクレーン」がごみをつかむ様子などを実際に見ることができました。こどもたちは、疑問に思ったことを次々に質問するなど、興味をもって見学していました。

工場を見学し、そこで働く人々と触れ合うことを通して、教室では学ぶことのできない貴重な経験が得られました。